

速硬化ハンディタイプエポキシパテ エポパテ S

エポキシ樹脂～ポリアミド樹脂方式の接着剤は接着性に優れていることから数多くの分野で使用されていますが、エポキシ樹脂特有の二成分混合系のため、荷姿、計量等の面で小規模な施工に不向きな点と硬化速度が遅いという欠点があります。

そこで、当社ではまず低温速硬化、低毒性ポリアミドの開発を行ない、それからなるエポキシパテを押し出し成型してラミネートフィルムに包装し、これらの点を一挙に解決したエポパテ S を開発しました。



(1) 特 長

1. 乾燥面はもとより、湿潤面においても強力に接着可能です。
2. 温度依存性が小さく、一年中作業性が良い。
3. 硬化速度が速く、施工初期が出ます。
4. 低温時の硬化性が優れています。

(2) 用 途

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般用万能接着剤 2. コンクリート構造物のクラック 3. コンクリート、ALC 板の欠け、 4. コンクリート構造物の鉄筋露出 5. 管の固定、管廻りの防水 6. 硬質 PVC とコンクリートとの 7. 船舶関連の補修材料 | <p>金属、コンクリート、モルタル、プラスチックの接着</p> <p>高速道路、鉄道、橋梁、下水道、貯水池、護補修岸、ダム、ドック、一般コンクリート構造物</p> <p>塗装下地の調整穴補修、木こんの充填</p> <p>高速道路、橋梁、一般コンクリート構造物部の補修</p> <p>電気、ガス、空調配管とコンクリート部空隙の充填</p> <p>塩ビパイプとヒューム管との接着（下水道）接着</p> |
|---|--|

(3) 使用方法

主剤および硬化剤の袋を破り、ゴム手袋、ポリエチレン手袋等を用いて水をつけながら均一になるまで良く混合し可使時間内に使用します。

厳冬期等の低温時には、主剤および硬化剤の袋をお湯の中に入れて温めてから使用しますと施工が楽になります。

(4) 性 状

| | | |
|-----------------|------------------------|------------------------|
| | 主 剤 | 硬 化 剤 |
| 主 成 分 | エポキシ樹脂 | 変性ポリアミドアミン |
| 外 観 | 白色パテ状 | 暗灰色パテ状 |
| 配 合 比 | 250 g : 250 g | |
| 密 度 | 1.95 g/cm ³ | 1.95 g/cm ³ |
| 可 使 時 間 (500 g) | 15分 | |

(5) 硬化時間

| | | |
|------------------------------|--------|-----|
| | 25℃ | 5℃ |
| 可 使 時 間 | 30分 | 70分 |
| Set to Touch *1 (指 触 乾 燥) | 75分 | 80分 |
| Dust Free *1 (半 硬 化) | 2時間20分 | 3時間 |
| Dry to Touch *1 (硬 化) | 2時間50分 | 9時間 |
| 完 全 硬 化 | 4日 | 7日 |

* (株)安田精機製作所製RCIドライイングタイムレコーダーを使用(接着剤中クリアー成分で測定。)

(6) 物理強度 (JIS K6911)

| | 25℃ | | | 5℃ | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 1日 | 3日 | 7日 | 1日 | 3日 | 7日 |
| 引張強度 (MPa) | 10.79 | 13.73 | 15.01 | 3.43 | 9.32 | 13.24 |
| 曲げ強度 (MPa) | 14.72 | 25.51 | 32.37 | 2.06 | 7.65 | 18.54 |
| 圧縮強度 (MPa) | 49.05 | 51.01 | 52.97 | 15.70 | 24.53 | 29.53 |

(7) 接着強度—引張せん断接着力 (JIS K6850)

| | | 8時間 | 16時間 | 1日 | 3日 | 7日 |
|-------------------------------|-----|------|-------|-------|-------|-------|
| 引張せん断接着力 (MPa) 鋼板/鋼板 | 25℃ | 7.55 | 10.20 | 10.30 | 10.30 | 10.20 |
| | 5℃ | — | 5.40 | 5.69 | 6.38 | 6.67 |
| 引張せん断接着力 (MPa) 硬質PVC/鋼板 | 25℃ | 1.37 | 2.16 | 3.34 | 4.91 | 5.89 |

(8) 接着強度—引張付着力 (建研式、25℃、7日)

| | 乾燥コンクリート | 湿潤コンクリート | 水中コンクリート |
|------------------------|------------------|------------------------|------------------------|
| 引張付着力 (MPa) 対コンクリート | 2.75 コンクリート破壊 | 2.45 コンクリート 表面破壊 | 2.35 コンクリート 表面破壊 |

(9) 耐水劣化試験 (試料、25℃ 3日硬化物)

| | 浸 漬 前 | 7日簡水中浸漬 |
|-----------------------------------|-------|---------|
| 曲 げ 強 度 (MPa) | 25.51 | 55.43 |
| 引 張 せ ん 断 接 着 力 (MPa) 鋼板/鋼板 | 10.30 | 7.85 |

(10) 使用上の注意

1. 充填材に炭酸カルシウムを使用していますので、硬化物に直接酸がかかる用途には使用を避けて下さい。
2. 5℃以下での使用は避けて下さい。
3. 毒性はほとんど無くしてありますが、アレルギー体質の人はかぶれることがありますので取扱を避けて下さい。
4. 皮膚に付着した時は、よく石鹼等で洗い落として下さい。

(11) 荷 姿

段ボールケース 40セット入
主 剤 250g×40個
硬 化 剤 250g×40個

段ボールケース 5セット入
主 剤 250g× 5個
硬 化 剤 250g× 5個